サステナブルビジネストラベルのご案内

~気候変動に対するレスポンシビリティ~

株式会社トップレップ

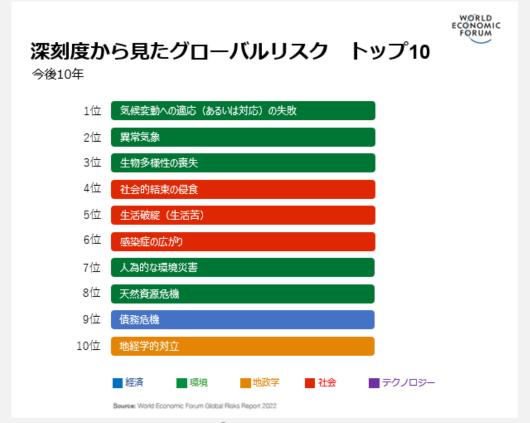


世界で進む気候変動への取組み



深刻化する環境リスク

2022年1月に発行された世界経済フォーラムのグローバスリスクレポートでは、環境に起因するリスクが深刻度ランキングの上位を占めており、今や気候変動対応は投資意思決定にも影響しています。



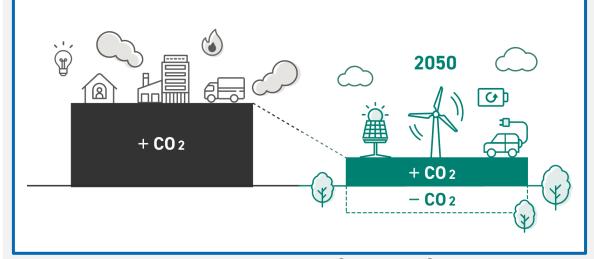
画像引用:世界経済フォーラム「<報告書発表> グローバルリスク報告書2022年版: 2022年のグローバルリスクのトップは、気候変動への適応の失敗と社会的危機」

日本が目指す「2050年カーボンニュートラル」

日本政府は、2030年度において温室効果ガス46%削減(2013年度比)を目指すこと、さらに、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。

カーボンニュートラルとは:

- 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」※ から、植林、森林管理などによる「吸収量」※ を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。
- ※人為的なもの



画像引用:環境省 [脱炭素ポータル] カーボンニュートラルとは

出張の脱炭素はカーボンニュートラルのラストワンマイル



製造業の多い日本にとって、「出張」の脱炭素は、全体排出量の内1%に満たない企業もあります。しかしながら、カーボンニュートラル目標を達成するにあたり、その1%が最後のハードルになる可能性があります。

サプライチェーン排出量 Scope1,2,3排出量 (環境省が提言するGHGプロトコルより)

Scope1 (事業者自らの直接排出) すでに取り組みが 進んでいる。 Scope2 (他社供給の電気・熱・蒸気の使 用に伴う間接排出) Scope3 取り組み余地あり (事業活動に伴う間接排出)

- → 「出張」は、要素が多く複雑化しやすい。
 - → 取り組みをおこない、真のカーボンニュートラルへ。

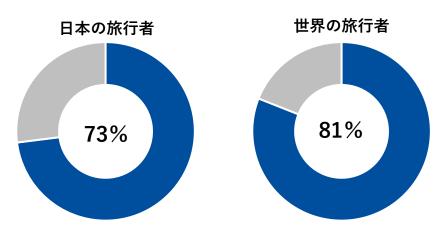
Point

サステナブルな選択肢が社員のエンゲージメント向上へ

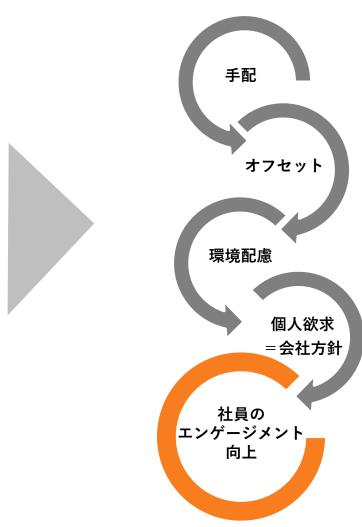


近年、自身の旅による環境への影響を考慮し、よりサステナブルな旅を選択しようとする旅行者が増加しております。 企業の出張においても、社員ひとりひとりにサステナブルな選択肢を用意しておくことが社員のエンゲージメント向上につながります。

サステナブルな旅は自身にとって重要である



参考:ブッキング・ドットコム、2022年の「サステナブル・トラベル」 に関する調査結果を発表



出張におけるCO2排出量管理のトータルコンサルテーション



取り組みが初めての企業の場合には、業務渡航における脱炭素の進め方講習から、既に詳細をご存知の企業には具体的な要件定義から、 確実に脱炭素に向けた活動が遂行できるよう支援致します。

出張の脱炭素スキーム構築

CO2排出量 データ取得支援

複数旅行会社を利用している 場合でも"出張全体"に対する CO2排出量データを可視化

カーボン・ オフセット支援

CO2排出量の可視化から 証書発行まで、手間なく オフセットできる環境を整備

データ分析・ 削減方法の提案

出張におけるCO2排出量の 削減余地の可視化と 削減方法のご提案

レポーティング ・対外的発信

脱炭素に向けた取り組みを 効果的に社外発信するための サポート

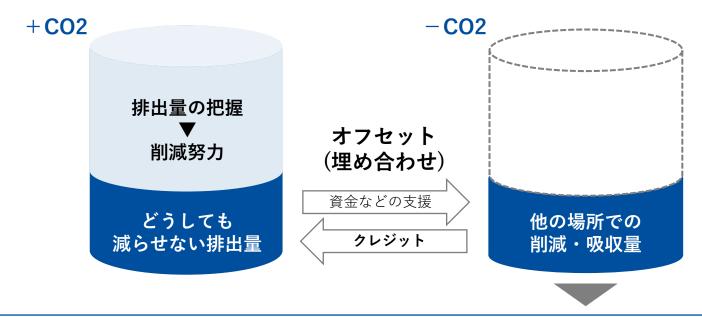
新ポリシー・ ガイドライン策定

CO2排出量削減の観点での ポリシー・ガイドライン策定 の支援

カーボン・オフセットとは



カーボン・オフセットとは、私たちの活動により排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を、先ずできるだけ減らすように 努力をした上で、それでも排出してしまう温室効果ガスの排出量を、他の場所での削減・吸収活動(削減・吸収量)により埋め合わせ ようという考え方です。



「他の場所での削減・吸収活動」の例:

森づくりにより 二酸化炭素の吸収を促す活動

プロジェクト例: ○○県の森づくりによるCO2吸収量 増大事業

再生可能エネルギーの利用

プロジェクト例: 太陽光によるエネルギー自足自給 事業

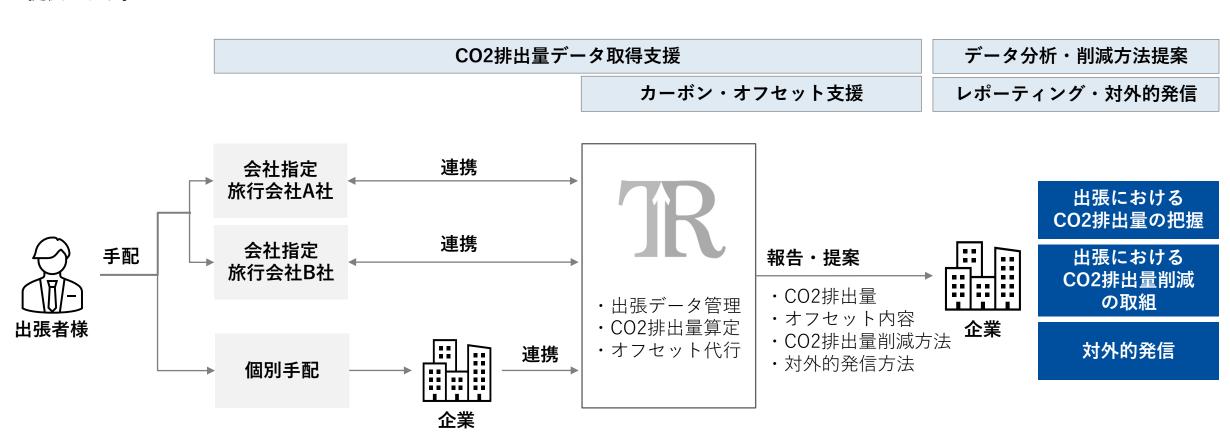
高効率省エネ機器の導入など 温室効果ガス削減を 実現する活動

プロジェクト例: 食品工場によるボイラー設備及び照 明設備更新による省エネルギー事業

出張の脱炭素スキーム



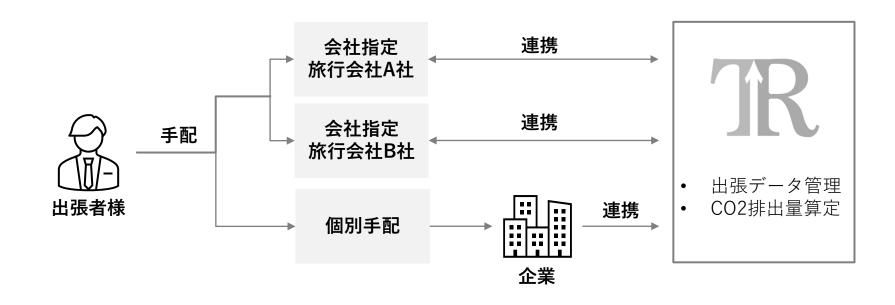
サステナブルビジネストラベルでは、CO2排出量の可視化から、オフセット、削減、レポーティングまでのトータルコンサルテーションを提供します。



CO2排出量データ取得支援



複数の旅行会社を利用している場合や個別手配がある場合でも、必要データの連携体制を整備することで"出張全体"に対する CO2排出量の可視化が可能です。



連携データ

- 出張人数
- 出張/宿泊日数 利用コスト
- 利用交通手段
- 目的地/滞在地
- 座席クラス
 - 利用コスト (航空券代金/列車運賃/宿泊費)

など

連携方法

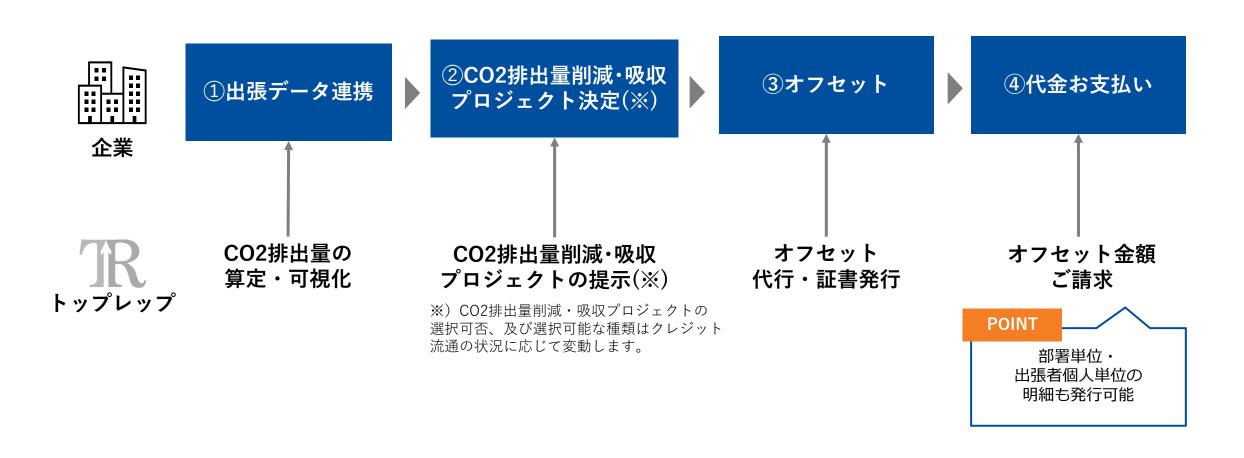
- 出張申請・予約システムの連携
- 指定旅行会社、または企業から の出張データ一覧の共有

など

カーボン・オフセット支援



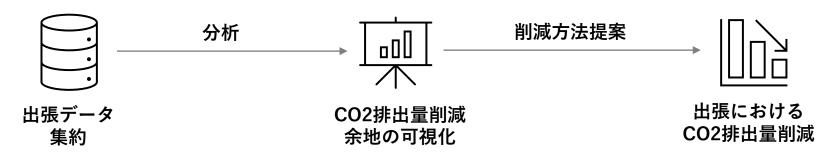
クリーンビジネストラベルでは、出張データを連携いただくことで、CO2排出量の可視化からオフセット証書の発行まで手間なく実施することが可能です。



CO2排出量削減余地の分析と削減方法のご提案



CO2排出量の算定・オフセットだけではなく、出張データを分析した上でCO2排出量の削減余地を可視化し、企業に合わせた出張におけるCO2排出量の削減方法をご提案します。





レポーティング・対外的発信



出張における脱炭素に向けた取り組みや、実現した排出削減を効果的に対外的発信できるようコンサルテーションしております。



出張における サステナビリティ活動 の診断

サステナビリティレポート の内容や取組み状況・企業 方針についてヒアリング



診断内容に応じた ご提案

- 排出量削減数値の発信
- 削減取組の発信
- オフセット内容の発信 など



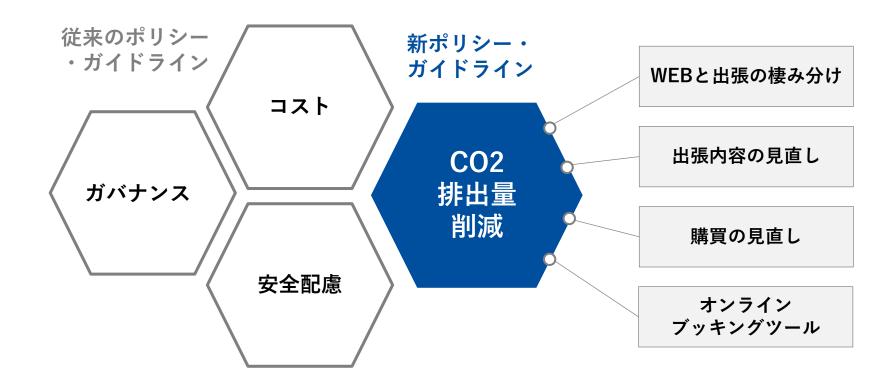
効果的な対外的発信

出張における SDGs・ESGの取組みを 対外的にPR

新ポリシー・新ガイドライン策定



CO2排出量をオフセットするだけではなく、CO2排出量を削減するのための新ポリシー・新ガイドラインの策定はカーボンニュートラル目標の達成に必要不可欠です。



TOPPAN SDGS 商材への連携



凸版印刷はSDGsへの基本的な考え方をすべてのステークホルダーと共有し、さらに2030年に向けてマテリアリティに真摯に取り組むことで、「ふれあい豊かでサステナブルなくらし」の実現とSDGsの達成に貢献していくことを宣言しています。トッパングループでは脱炭素推進、サステナビリティ活動支援に関するソリューション、コンサルティング、CSRレポート作成支援等を展開しております。

TOPPAN SDGs STATEMENT 事業活動マテリアリティ

安心安全で豊かなまちづくり

- 利便性とプライバシー保護を 両立するパーソナルデータ利 活用サービス
- 地域課題解決に貢献する遠隔 センシングサービス

など

サステナブルな地球環境

- サステナブルパッケージソ リューション
- 環境に配慮した素材や仕組み
- 省エネルギー・創エネルギー 等のソリューションの提案 など

安全安心で まちづくり ふれあい豊かで 心と身体の サステナブルな 豊かさと人の 15L

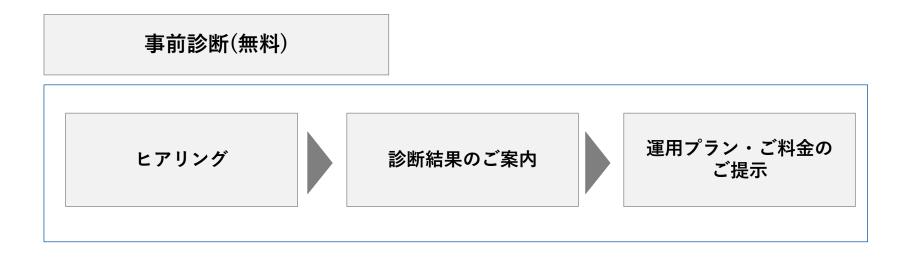
心と身体の豊かさと人の エンパワーメント

- 賞味期限延長に貢献する機能性 パッケージ
- 教育関連ソフトや翻訳技術等を 組み合わせたプラットフォーム など

お問い合わせ先など



実際に行う運用プラン・ご料金のご提示にあたり、事前の無料診断をお勧めしております。



ご提案内容お問い合わせ先

Tel : 03-6635-6610 / Email : info@toprep.co.jp

営業時間:平日9:00-17:00

ホームページからもお問い合わせいただけます。

https://www.toprep.co.jp/